PROTECH®

3CHフィールドミキサー

FS-305/300

取扱説明書

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
なお、取扱説明書は必要に応じてご覧になれるよう
大切に保管してください。

安全上の注意　必ずお守りください。

プロテック商品共通　別売ＡＣで使用される場合を含む

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、
必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を
次の表で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

設置について　⚠ 警告

■不安定な場所におかない！ 禁止 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。	■電源コードに重い物を乗せない！ 禁止 下敷にならないよう注意してください。コードが傷ついて、火災・感電をおこすおそれがあります。	■水場に設置しない！ 水場使用禁止 火災・感電の原因となります。

異常時の処理について　⚠ 警告

■本機を落としたり、破損した場合は電源スイッチを切り、電源を抜く！ 電源を抜く そのまま使用すると、火災・感電をおこすおそれがあります。	■本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源を抜く！ 電源を抜く そのまま使用すると、火災・感電をおこすおそれがあります。	■本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源を抜く！ 電源を抜く そのまま使用すると、感電・事故をおこすおそれがあります。 ●お買い上げの販売店に御相談ください。
■煙りが出ている、変なにおいや音がする等の異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源を抜く！ 電源を抜く	■電源コードが痛んだ場合は、交換する！ そのまま使用すると、感電・事故をおこすおそれがあります。 ●お買い上げの販売店に御相談ください。	

安全上の注意　必ずお守りください。

⚠ 警告

使用方法について

■本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！

禁止

こぼれて、本機内部に入ると、故障や事故をおこすおそれがあります。

■機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！

禁止

火災・感電の原因となります。

■本機を改造しない！

分解禁止

火災・感電の原因となります。

■水場で使用しない！

水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

■本機の裏フタ・キャビネット・カバー等をはずさない！

分解禁止

感電の原因となります。
点検・整備・修理は
販売店にご依頼ください。

■機器がぬれたり、水が入らないようにする！

禁止

火災・感電をおこすおそれがあります。
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

⚠ 注意

使用方法について

■本機の上に重い物を置かない！

禁止

バランスがくずれて、落下して、けがの原因になります。

■本機に乗らない！

禁止

倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。

■使用しない時は、安全のため電源を抜く！

電源を抜く

火災・感電の原因となることがあります。

■移動させる場合は、電源を抜き、外部のコードをはずす！

電源を抜く

コードが傷つき、
火災・感電の原因
となることがあります。

お手入れについて

■お手入れの際は安全のため、スイッチを切り、電源を抜く！

電源を抜く

感電の原因となることがあります。

■１年に１度くらいは、販売店に内部掃除の相談を！

本機の内部にほこりがたまったまま、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。

目次

安全にお使いいただくために必ずお守りください……2～3
ご使用にあたってのお願い……2～3

各部名称と働き……5～14
入力パネル（左側面）……5～6
イコライザー調整パネル（天板）……7
メインパネル（前面）……8～11
入出力パネル（右側面）……12～13
バッテリーホルダー……14

主な使用方法……15～22
バッテリーケースの取り出しと装着……15
電源ON／OFFとバッテリー残量の確認……16
入力音声の種類を選択ずる……17
音声出力をレコーダーに接続する……18
出力レベル調整をする……19～20
入力レベルを調整する……21
入力音声をイコライジングする……22

オプション……24

周波数特性……25～26

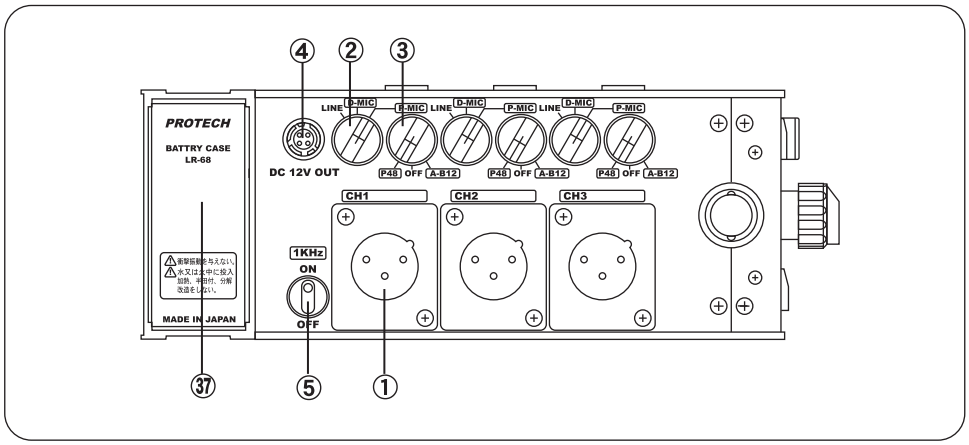
ブロック図……27

外形寸法図……28

主な仕様……29

各部名称と働き

入力パネル(左側面)

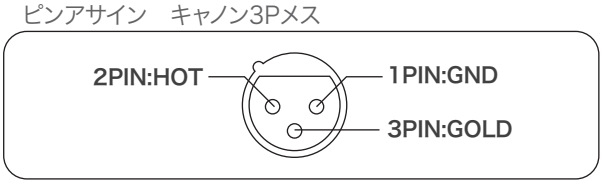


①入力コネクタ　キャノンXLR3ピン

FS-305Aタイプ:メス

FS-305Bタイプ:オス

ピンアサイン　キャノン3Pメス



②入力切替スイッチ

P-MIC:ファンタムマイクをご使用時はこの位置にします。この時、P-MIC電源切替スイッチ(③)でマイク電源の種類を選択して下さい。

D-MIC:ダイナミックマイクをご使用時はこの位置にします。

LINE :ラインレベルでの入力時はこの位置にします。

(注)FS-300のP-MICはP48専用です。

③P-MIC電源切替スイッチ

P48　　:ファンタム48Vのマイク(SONY社製C-74等)をご使用時はこの位置にします。

A-B12　:A-B12Vのマイク(ゼンハイザー社製MKH416T等)をご使用時はこの位置にします。

OFF　　:この位置ではマイク側に電源供給されないようになっています。

この切替スイッチは入力切替スイッチ(②)が「P-MIC」である時、有効となります。

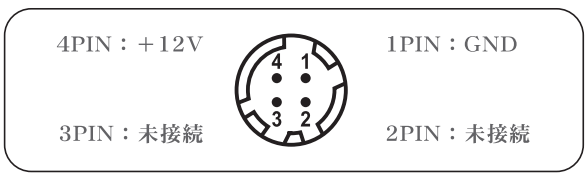
(注)FS-305のみ

④DC12V OUT端子

ワイヤレスレシーバー等にDC12Vを供給するためのミニ4ピン出力コネクタです。

(注)FS-305のみ

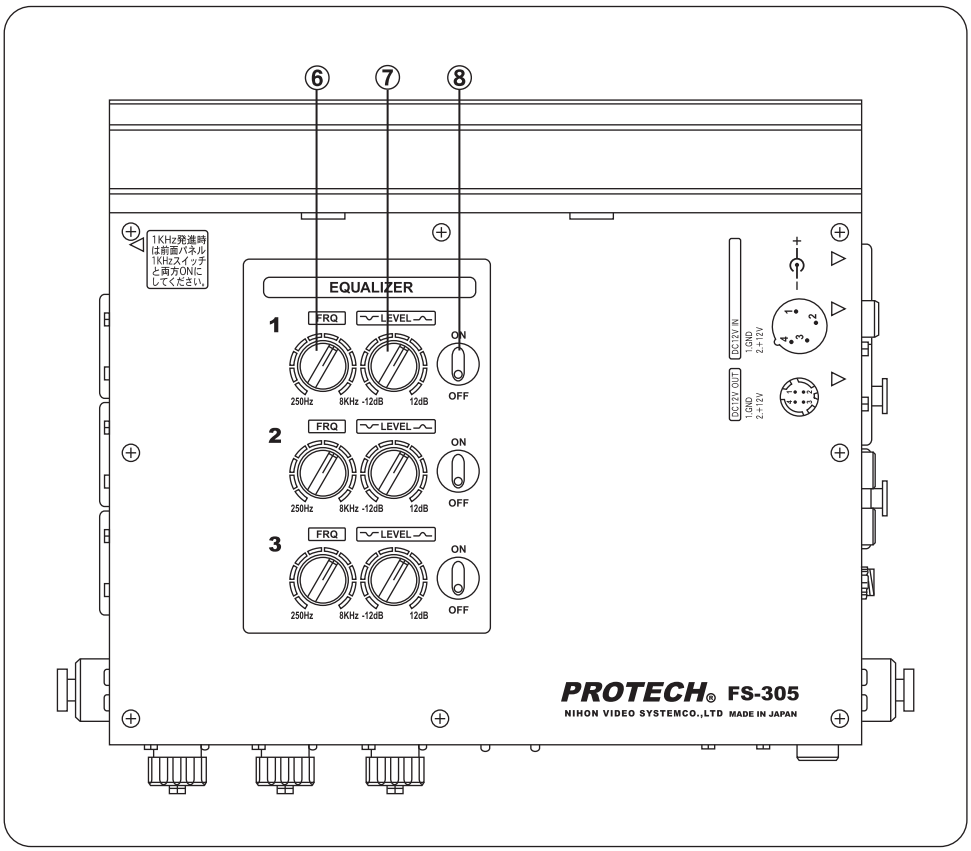
ピンアサイン



⑤1kHz OSCスイッチ2

このスイッチをONにして、正面の1kHz／バッテリーチェックスイッチ(⑯)を⏲側にすると右側面のマスター出力コネクタ(㉚)及びサブ出力コネクタ(㉛)に1kHzの基準信号が出力されます。

(注)FS-305のみ



⑥イコライザーフリケンシーボリューム

入力ch毎にイコライザー周波数を調整する為のボリュームです。250Hz～8kHzの可変範囲を持ち、任意に調整できます。

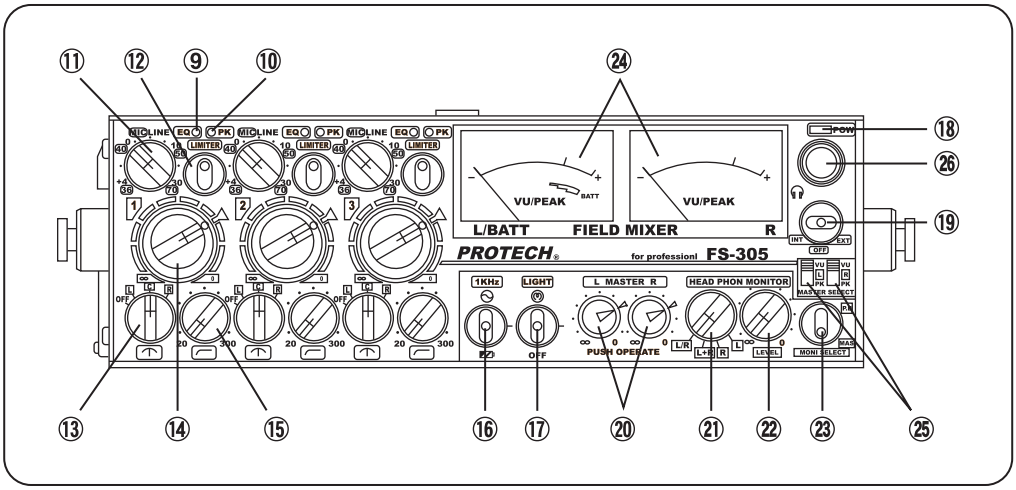
⑦イコライザーレベルボリューム

イコライザーのレベルを調整するボリュームです。イコライザーフリケンシーボリューム(⑥)で設定した周波数を-12dB～+12dBの範囲で調整できます。

⑧イコライザーON/OFFスイッチ

イコライザーフリケンシーボリューム(⑥)、イコライザーレベルボリューム(⑦)で調整されたイコライザー効果をON/OFFするスイッチです。このスイッチで効果を確認したり、調整した設定を残したままイコライザーをOFFにすることもできます。

(注)FS-305のみ



⑨イコライザーLED

天板上のイコライザースイッチがONの状態を表示するLEDです。これにより前面パネルでイコライザーのON/OFFが確認できます。

（注）FS-305のみ

⑩オーバーロード（PK）LED

各ch毎にレベルが瞬間でもオーバーロードした時に点灯して、入力レベル又はマスターボリュームの設定値が高いことを示します。

（注）FS-305のみ

⑪MIC/LINEトリムボリューム

入力を正しいレベルで取り込む為の調整ボリュームです。マイクで入力された音声を最小-70dBm、最大-36dBmまでの間で調整することができます。これにより感度の違うマイクや音源レベルの違う音声を同じレベルにすることができます。LINE入力の場合-30～+4dBmの間で可変します。

⑫ハイパーリミッタスイッチ

各入力chに独立して設けられているハイパーリミッター回路をch毎にON/OFFするスイッチです。

（注）ハイパーリミッターはスイッチをOFFにして、トリムボリューム及び、マスターボリューム
でレベル調整確定後、ONにしてください。

⑬chセレクトスイッチ

各ch毎に調整された信号をL/Rにどのようにミキシングするかを選択するスイッチです。

OFF：ミキシングOFF

L：Lのみにミキシング

C：LとRの両方にミキシング

R：Rのみにミキシング

⑭chマスターボリューム（表示LED付）

各ch毎のミキシングレベルを調整するボリュームです。ライトスイッチ（⑰）がON側になっているとツマミの先端が点灯し暗い中でも調整ができます。

⑮LOW CUT調整ボリューム

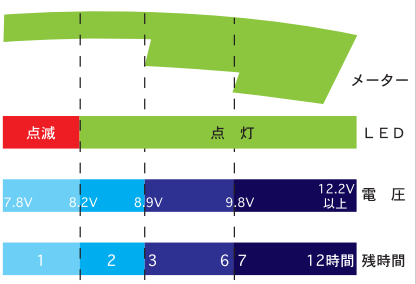
風雑音等の低域をカットする為の遮断周波数を調整するボリュームです。ヘッドホン等でモニターしながら20Hz～300Hzの間で調整して使用してください。

⑯1ｋHｚ／バッテリーチェックスイッチ

このスイッチを ～ 側に倒します。さらに左側面1kHz OSCスイッ22（⑤）をONにするとメイン及びサブ出力に1kHz基準音が出力されます。

バッテリーチェックスイッチ

このスイッチを ▱ 側に倒すとL側メーターの表示がバッテリー残量表示に切り替わります。残量の見方は右図のとおりです。



⑰ライトスイッチ

このスイッチをセンターにするとオーバーロード表示機能が働き、オーバーロードLED(⑩)がオーバーロード表示するようになります。⑰側にするとch毎のマスターボリュームLED及びメーターバックライトが点灯し暗闇での操作が容易になります。

⑱POW表示LED

POWスイッチ(⑲)がINT（内部電源）又は、EXT（外部電源）にセットされ、電源ONになっている時に点灯します。この表示は電圧チェック機能をもっており電源電圧が約8.2V以下になると点滅を始め電池容量不足を警告します。

⑲POWスイッチ

INTにすると内部（後面）のバッテリーボックス又は、NP1ボックスから電源を供給します。EXTにするとキャノ44ピンDC12V入力コネクタ(㉝)又はBP-90用DC12V入力コネクタ(㉞)からの電源供給になります。電源がONになっているときはINT,EXTのどちらでもPOW表示LED(⑱)が点灯します。

⑳マスターボリューム

出力レベル調整用のマスターボリュームです。L・R独立です。プッシュロックタイプを採用し不用意につまみがまわらないようにできています。調整したい場合はつまみを押すと飛び出しますので調整が容易に行えます。その後再度押し込んでください。

㉑ヘッドホンセレクトスイッチ

標準ヘッドホンジャック(㉖)及び、ミニヘッドホンジャック(㉗)にセットされたヘッドホンに出力するモニター信号を選択するスイッチです。L/R モードではステレオとなり、L+R モードではLとRのMIX、L もしくはR モードでは、Lもしくは Rの音声をモノラルでモニターできます。

㉒ヘッドホンモニターレベルボリューム

ヘッドホンセレクトスイッチ(㉑)で選択された音声のモニターレベルを調整するボリュームです。

㉓モニター切替スイッチ

メーター及びヘッドホンでモニターする音声をマスター（MAS）出力又は、プレイバック（P.B）入力に切り替えるスイッチです。MAS 側にするとメーター及び、ヘッドホンにミキサー本体から出力される音声信号をモニターできます。P.B 側にすると、プレイバック入力コネクタ(㉙)から入力されたレコーダー等の音声信号をプレイバックレベルボリューム(㉘)で調整し、モニターできます。

（注）FS-305のみ

㉔VU/PEAKメーター

2個のメーターによりL/Rステレオ同時モニターができます。メーター切替スイッチ(㉕)によVU/PEAK切替が可能です。メーター切替スイッチ(㉕)をVU側にした時はVUメーターとなり、上段の目盛り-20～+3dBで表示されますPK側に切り替えるとPEAK PROGRAMメーターとなり下段の目盛り-60～0dBの表示となります。1kHz／バッテリーチェックスイッチ(⑯)を側にしている間はL側のメーターでバッテリーレベルの表示をします。

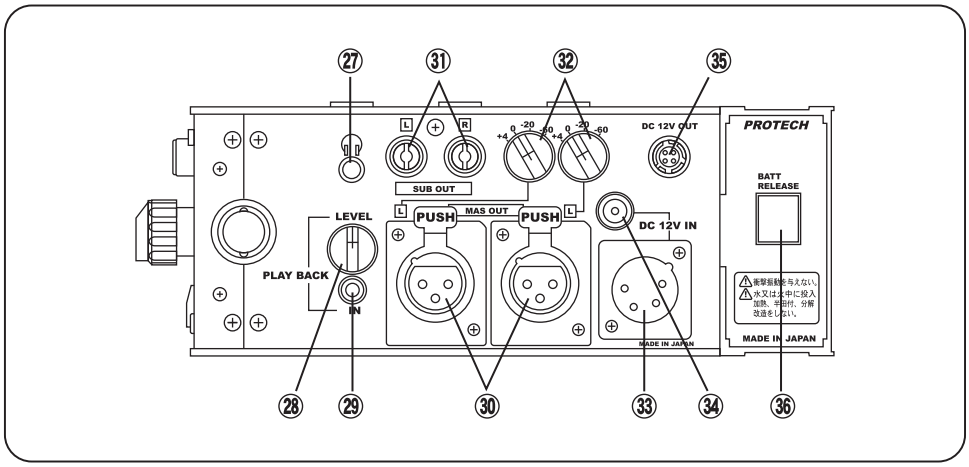
（注）基準レベルはVUでは0dB,PEAKでは-20dBの時、マスター出力切替スイッチ(㉜)で設定された+4/0/-20/-60dBになります。

㉕メーター切替スイッチ

VU/PEAKメーター(㉔)をVU又は、PEAKメーターに切り替えるスイッチでL/R独立して設定ができます。

㉖標準ヘッドホンジャック

標準プラグ（6.3φ）用ヘッドホンジャックです。㉑～㉓によって設定された音声をモニターすることができます。



㉗ミニヘッドホンジャック

ミニプラグ(3.5φ)用ヘッドホンジャックです。前面パネルにある標準ヘッドホンジャック(㉖)と同時モニターが可能です。

㉘プレイバックレベルボリューム

プレイバック入力コネクタ(㉙)から入力された外部信号を調整する為のレベルボリュームです。本体の1kHz基準信号をONにした後、レコーダーに入力し、レコーダー側のレコーディングレベル合わせします。レコーダーからモニター出力をプレイバック入力コネクタ(㉙)に差し、メーター切替スイッチ(㉕)を PB 側にして、モニター切替スイッチ(㉓)を VU 側に切り替えます。この時、メーターの針が0dBになるように調整します。

(注)FS-305のみ

㉙プレイバック入力コネクタ

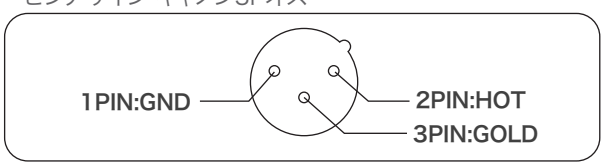
ステレオミニプラグ(3.5φ)用入力コネクタです。レコーダー側のヘッドホン出力又は、RCA出力から本機に入力してください。

(注)FS-305のみ

㉚マスター出力コネクタ(キャノン3ピン)

標準タイプ(Bタイプ)メスコネクタ　特注タイプ(Aタイプ)オスコネクタです。出力基準レベルをマスター出力切替スイッチ(㉜)によりch毎に+4/0/-20/-60dBmに設定できます。

ピンアサイン キャノン3Pオス



㉛サブ出力コネクタ（RCA）

RCAコネクタでL/Rが出力されます。家庭用レコーダー等に適合するよう、出力レベルは、-10dBに設定されています。

㉜マスター出力切替スイッチ

マスター出力レベルを+4/0/-20/-60dBmの4つのレベルより選択し切り替えるスイッチです。L/Rを独立して設定することができますので接続されるレコーダーに合わせてそれぞれ設定してください。

㉝キャノン4ピンDC12V入力コネクタ

キャノン4ピン外部電源入力コネクタです。このコネクタから電源を供給する場合はPOWスイッチ(⑲)をEXT側にしてください。入力電圧はDC9～16Vです。

ピンアサイン　キャノン4Pオス

㉞BP-90用DC12Vコネクタ

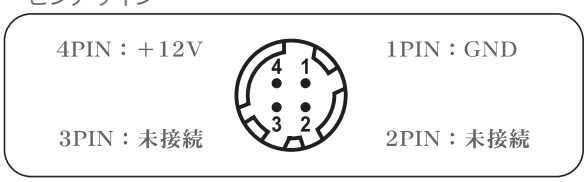
BP-90タイプバッテリーより電源入力をするためのコネクタです。この場合もPOWスイッチ(⑲)はEXT側にしてください。入力電圧はDC9～16Vです.

㉟DC12V出力コネクタ

ワイヤレスレシーバー等に電源を供給するためのミニ4ピンコネクタです。

（注）FS-305のみ

ピンアサイン



㊱バッテリーケースレリーズボタン

このボタンを押すとバッテリーケース(㊲)を取り出すことができます。

㊲バッテリーケース(LR-68)

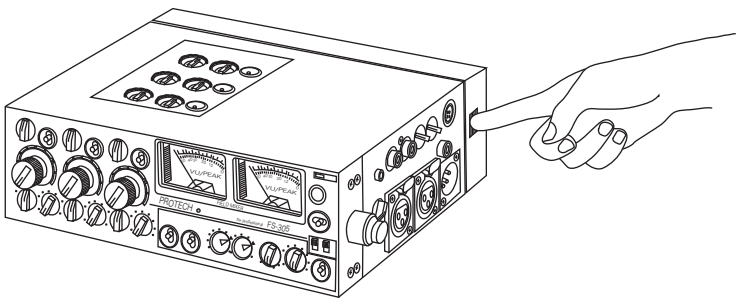
単3乾電池(UM3)8本を入れて使用するバッテリーケースです。

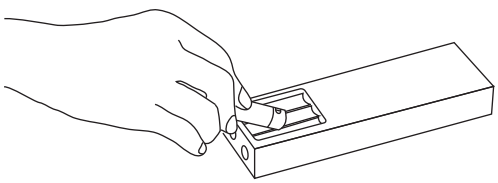
主な使用方法

■バッテリーケースの取り出しと装着

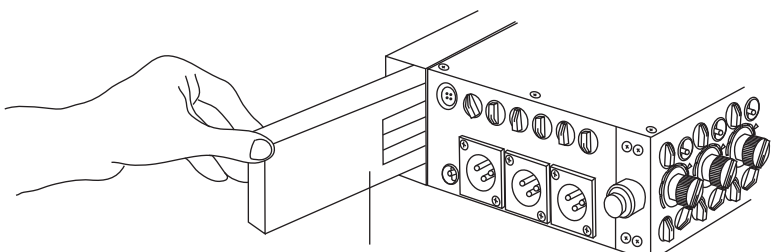
1. まずバッテリーケースをBATT RELEASEボタンを押し取り出します。バッテリーケースに単3乾電池8本を正しい方向に入れます。

（注）外部電源を使用する時はキャノン4ピン入力端子に入力して下さい。





2. バッテリーケースを方向に気を付けて本体に挿入し、「カチッ」と音がするまで押し込みます。

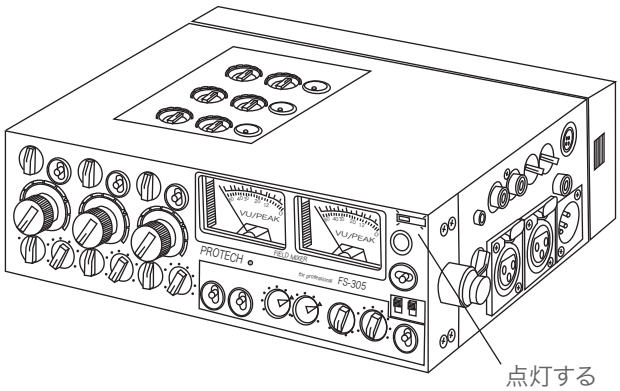


バッテリーが見える側を本体側にして
挿入する

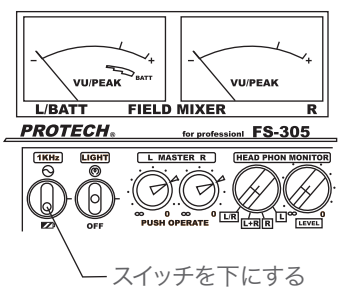
3. この時バッテリーケースがロックされている事をご確認下さい。

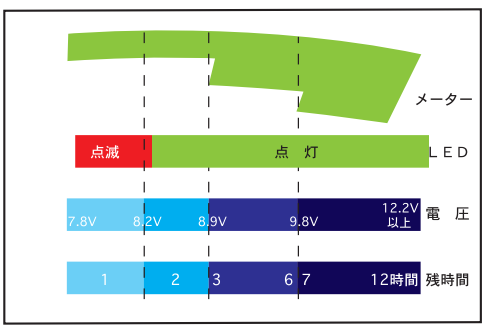
■電源ON/OFFとバッテリー残量の確認

1. フロントパネルの右側のPOW SWをINT（左側）にしPOW LEDが点灯する事を確認します。外部電源を使用する時はPOW SWをEXT（右側）にして下さい。



2. BAT CHECK SW ◫ 側に下げるとL/BATTのメーターが振れBAT残量を表示します。緑の一番右のバーに針があれば7時間以上使用可能です。

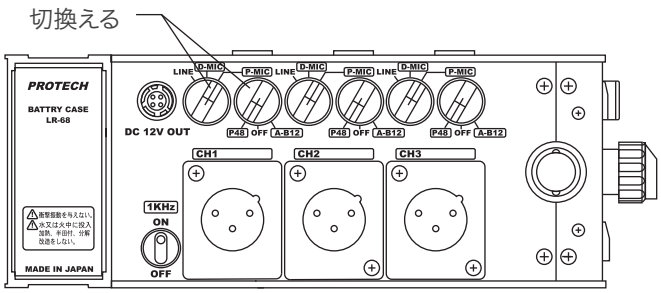




■入力音声の種類を選択する

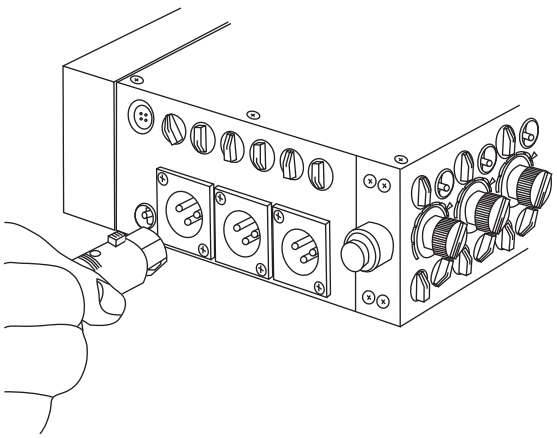
1. P48ファンタム電源タイプのコンデンサマイクを使用する場合は左側入力切換えツマミをP48にセットし、A-B12タイプのコンデンサマイク（ゼンハイザ社416T等）を使用される場合は切換えをAB12にセットします。

（注）LINEレベル音声を入力するときは入力切換えツマミをLINEにして下さい。



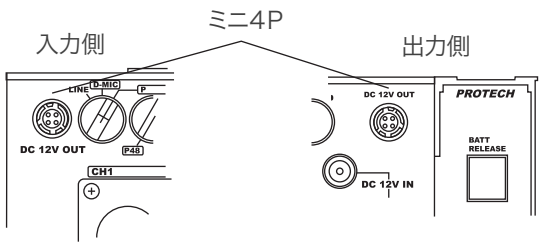
2. ダイナミックマイク（電源を必要としないマイク）を使用する時は切換えツマミをD-MICにセットして下さい。入力選択が終わればキャノン3ピンケーブルにて接続します。

（注）FS-300のP-MICは注文時のP48又はA-B12の固定となります。



3. ワイヤレスマイクを使用する場合はミニ4Pから電源を2系統とることが可能です。

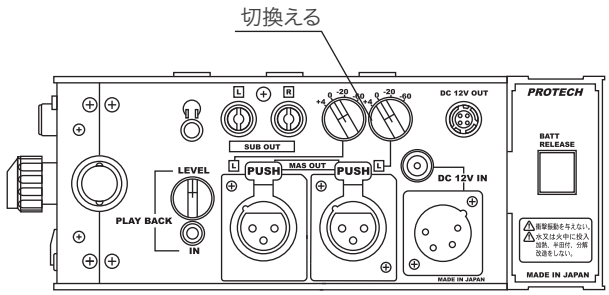
（注）FS-305のみ



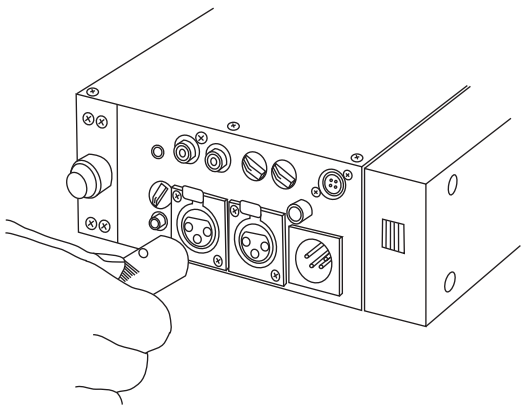
■音声出力をレコーダーに接続する

1. 音声出力をレコーダーに接続するには右側のMAS OUT(L,R)からキャノン3ピンケーブルでレコーダーと接続します。レコーダーの入力設定にMAS OUT出力設定を合わせます。

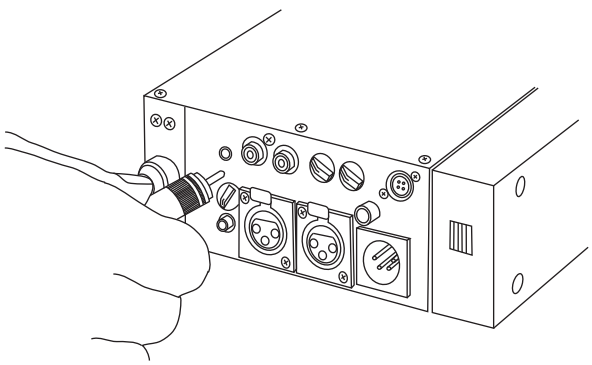
例:レコーダーがLINE入力+4dBの場合、MAS OUTも+4dBに設定します。



2. MAS OUT L,Rキャノンケーブルを接続します。

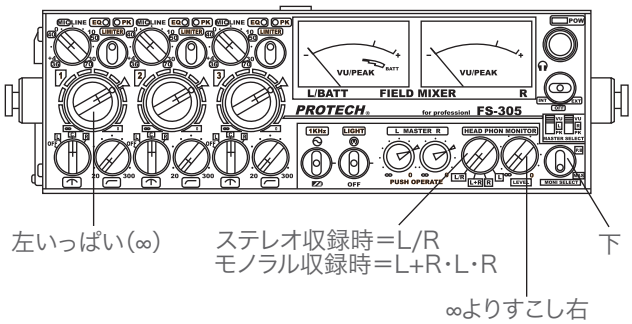


3. RCA入力のDECKを使用する場合にはSUBOUT A,Bに接続します。この時出力レベルは-10dBVです。

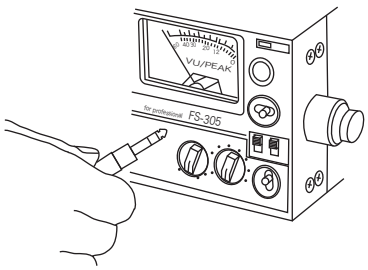


■出力レベル調整をする

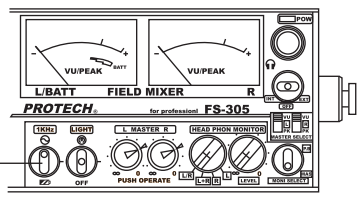
1. 全チャンネルのマスターボリュームを左いっぱいに回して∞にします。MONITOR SELECTはMAS（下側）にし、前面パネルの右側のHEAD PHONE MONITORをL/Rにし LEVELを∞から少し右にしてください。



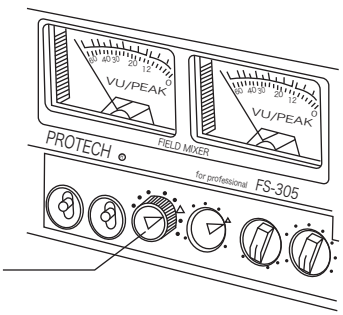
2. ヘッドホンジャックにヘッドホンを差し込んで下さい。



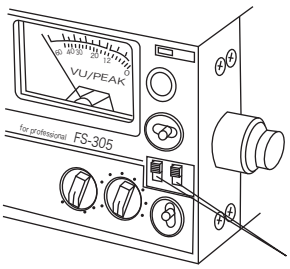
3. 左前面の1kHzスイッチと、前面パネルの1kHzスイッチをONにします。METER SELECTをVU又はPEAKに切換えます。



4. このときVUなら0dB、PEAKなら-20dBになるようにMASTER L,Rを調整します。

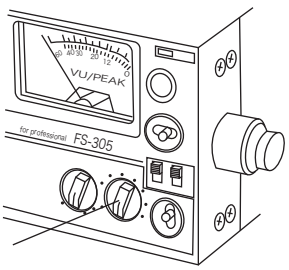


5. 接続するレコーダの採用しているメーターを選択するとより正確にレベル合わせを行うことが出来ます。



VU/PKを選択する

6. この時ヘッドホンレベルを適度な音量になるように調整します。

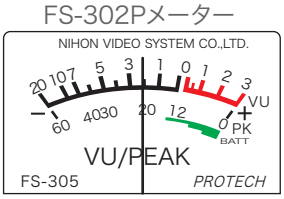


ヘッドホン調整します

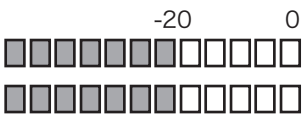
7. ここで接続されたレコーダーのレベルが正しくなるようにレコーダーの入力レベル調整をします。

(注)レコーダーがPEAKメーター仕様ならFS-305及び、レコーダーを-20dBになるように調整するのが適切です。

FS-302Pメーター

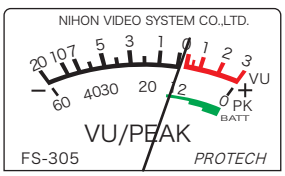


レコーダー側メーター(デジタル)

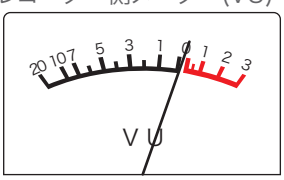


(注)レコーダーがVUメーター仕様ならFS-305及びレコーダーを0VUになるように調整するのが適切です。

FS-40Xメーター



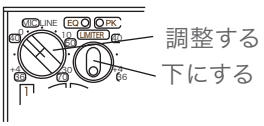
レコーダー側メーター(VU)



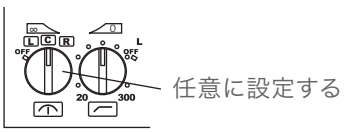
8. 調整後1kHzをOFFにします。

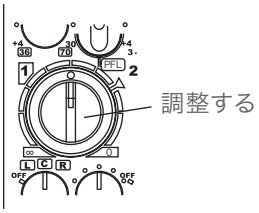
■入力レベルを調整する

1. マスターボリュームを赤マークの位置に合わせ、音声を入力してメーターが振れるかを確認します。LIMITERスイッチをOFFにし、適正レベルでメーターが振れるようにMIC/LINEトリムで調整します。



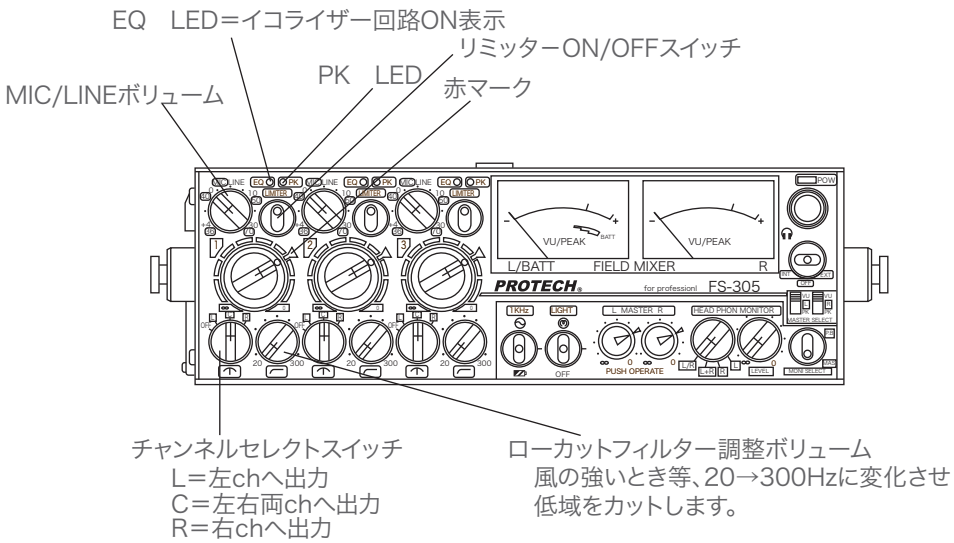
2. chセレクトスイッチを任意の位置に設定しマスターボリュームてに適正レベルになるように調整します。





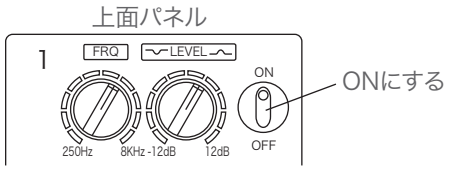
（注）このときリミッタースイッチをOFF（下）にして調整しないとメーターは適正でもレベルが高くなってしまうので注意してください。

3. 設定終了後にリミッタースイッチをLMTにしておくと突然の過大入力音時にもリミッターが働き音声が歪むのを防ぐことができます。

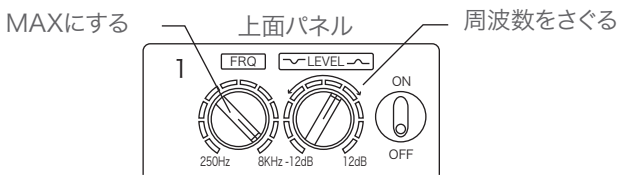


■入力音声をイコライジングする

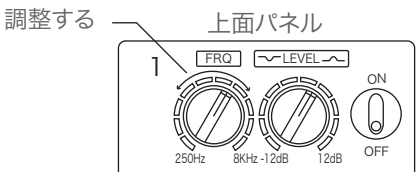
1. 入力音声の特定の音域を強調又は抑えたい場合は、上面のイコライザーにより調整します。調整したいchのEQUALIZERスイッチをONします。



2. LEVEL調整ボリュームを右いっぱい(+12dB)にします。ヘッドホンで確認しながらFRQのボリュームを250Hz～8kHzの範囲内で変化させ、強調したい音声が一番良く聞こえる周波数を探ります。



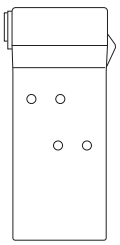
3. 周波数が決まればLEVELを任意に調整します。



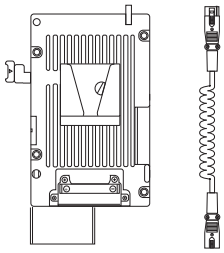
4. 効果を確認するにはEQUALIZERスイッチのON/OFFを行えば効き具合を確認できます。EQUALIZERをONにしたとき前面パネルのEQ　LED(黄色)が点灯しEQのON/OFFが確認できます。

5. 同じ方法で3ch共調整してください。これで音声の調整は完了です。

オプション



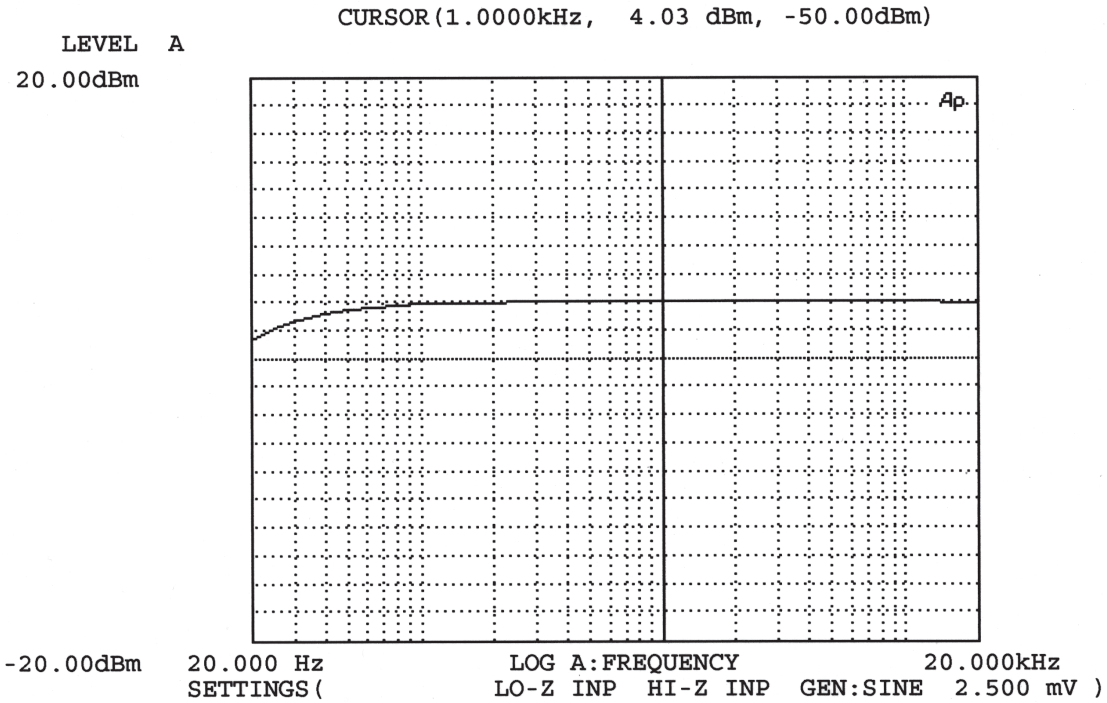
NP-1タイプバッテリーボックス
FS-N01
税抜価格18,000円
(税込価格18,900円)



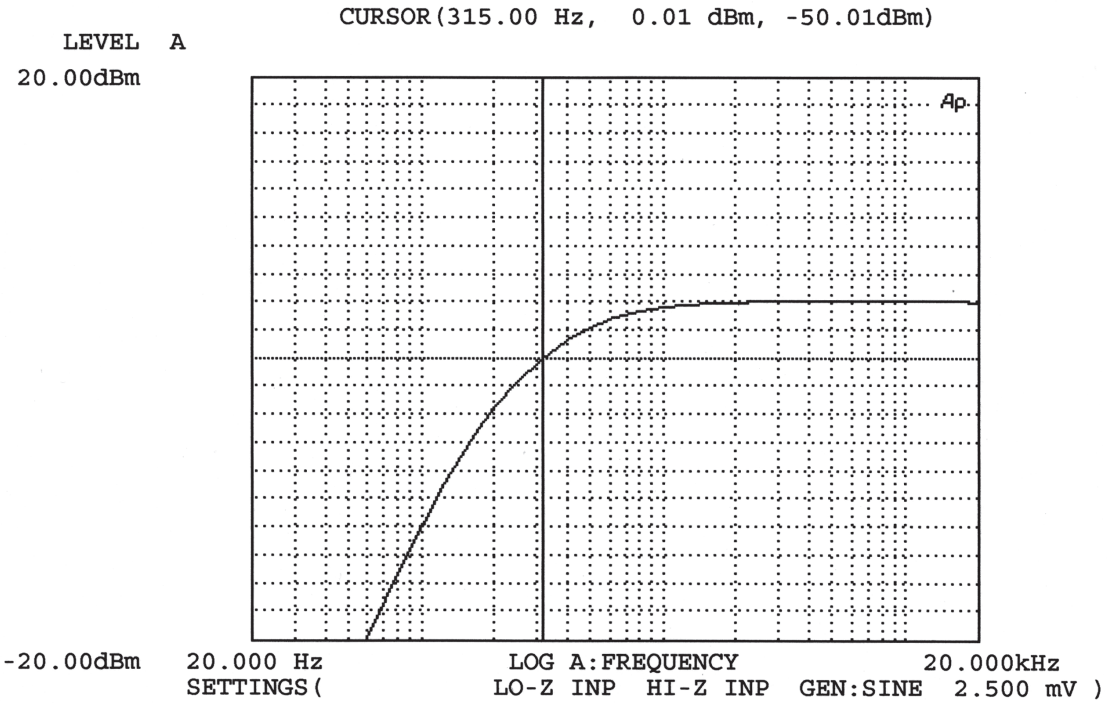
リチウムイオンバッテリーアダプタ
+カールコード
PBU-L301+CAR-150
税抜価格39,800円+7,000円
=46,800円
(税込価格41,790円+7,350円
=49,140円)

周波数特性

フラット　EQ OFF　LOWCUT 20Hz

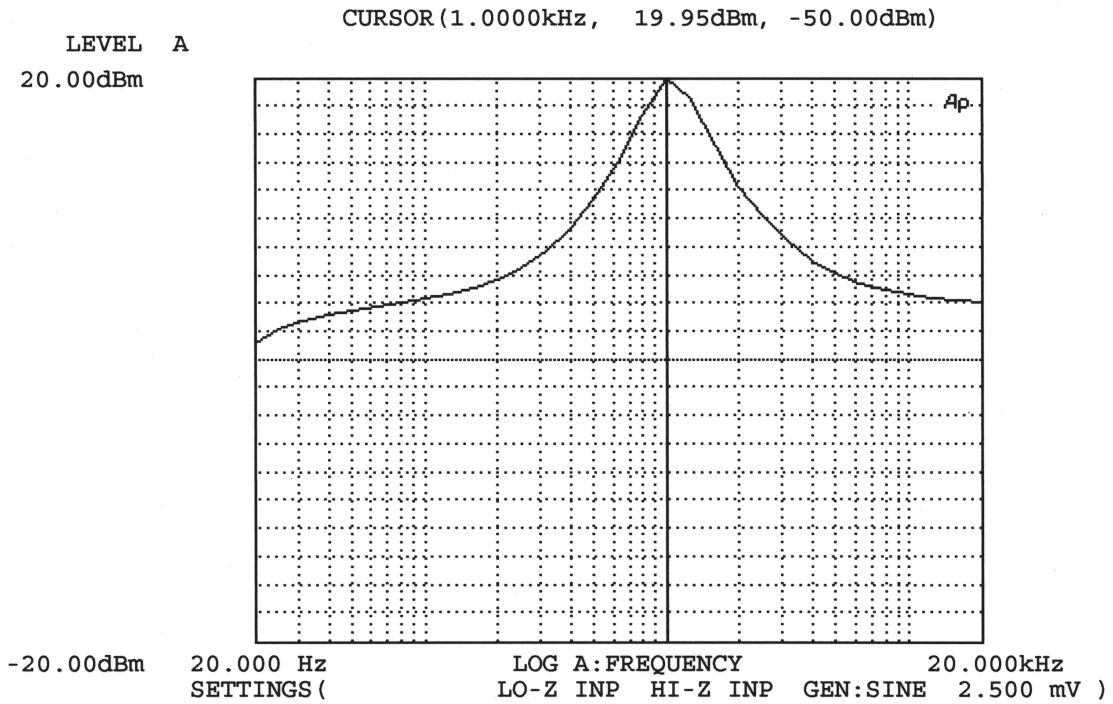


LOWCUT　EQ OFF　LOWCUT 300Hz

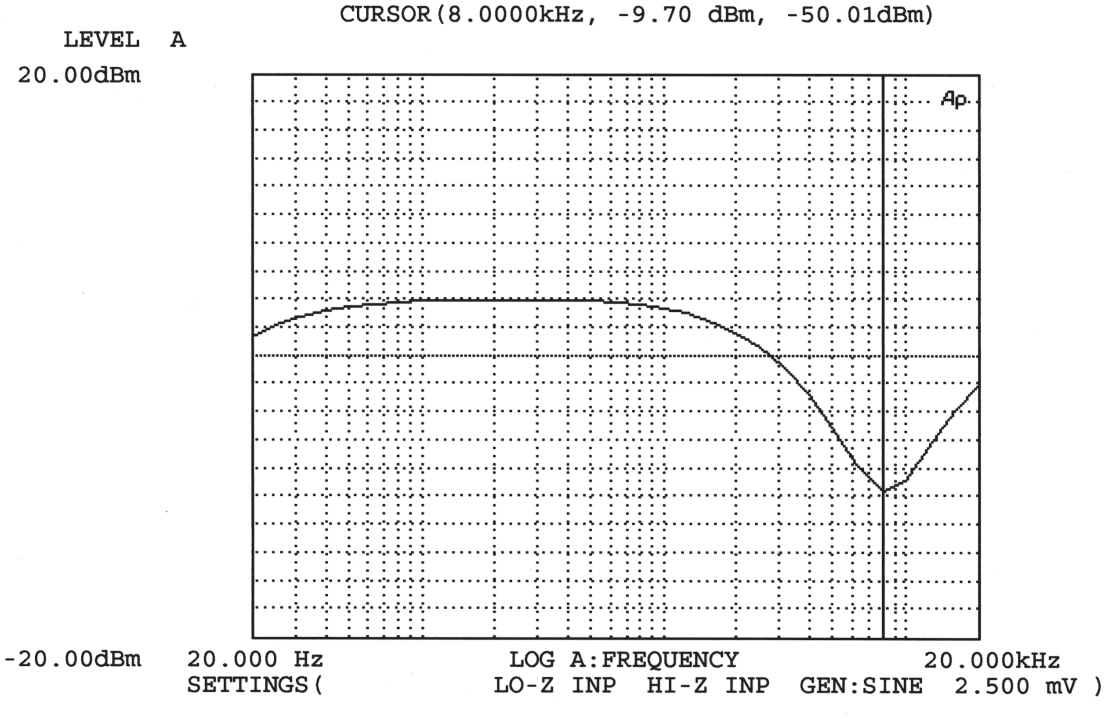


周波数特性

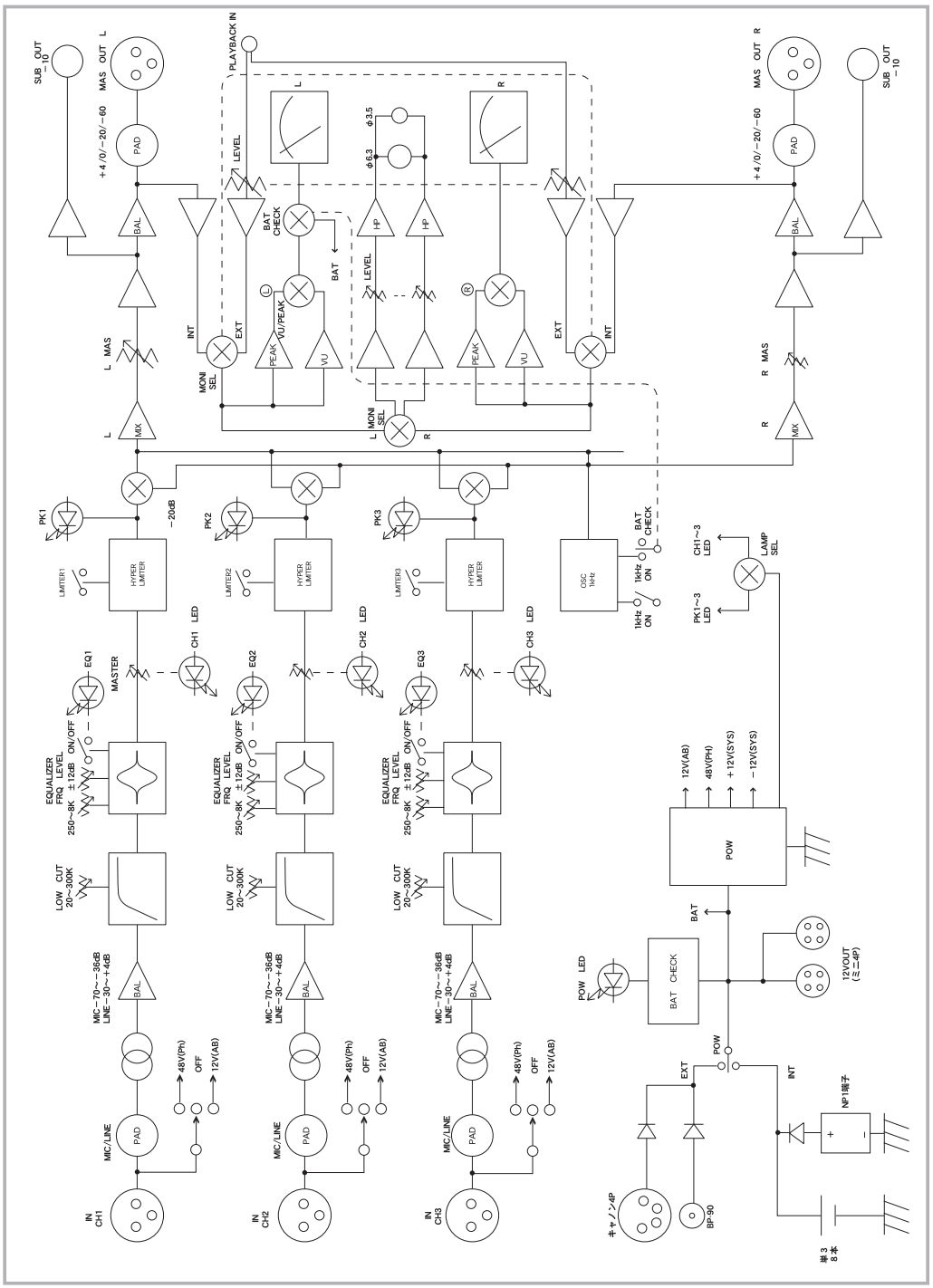
EQ ON UP　EQ ON　FRQ約1KHz　LEVEL +12dB



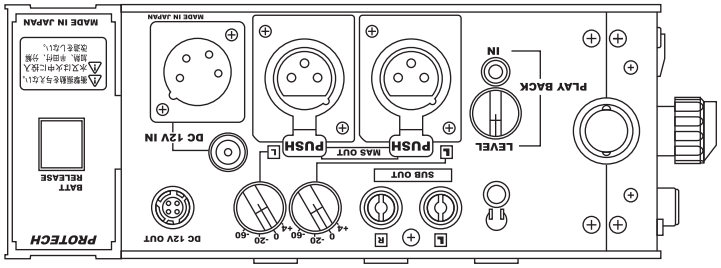
EQ ON DOWN　EQ ON　FRQ約8KHz　LEVEL -12dB

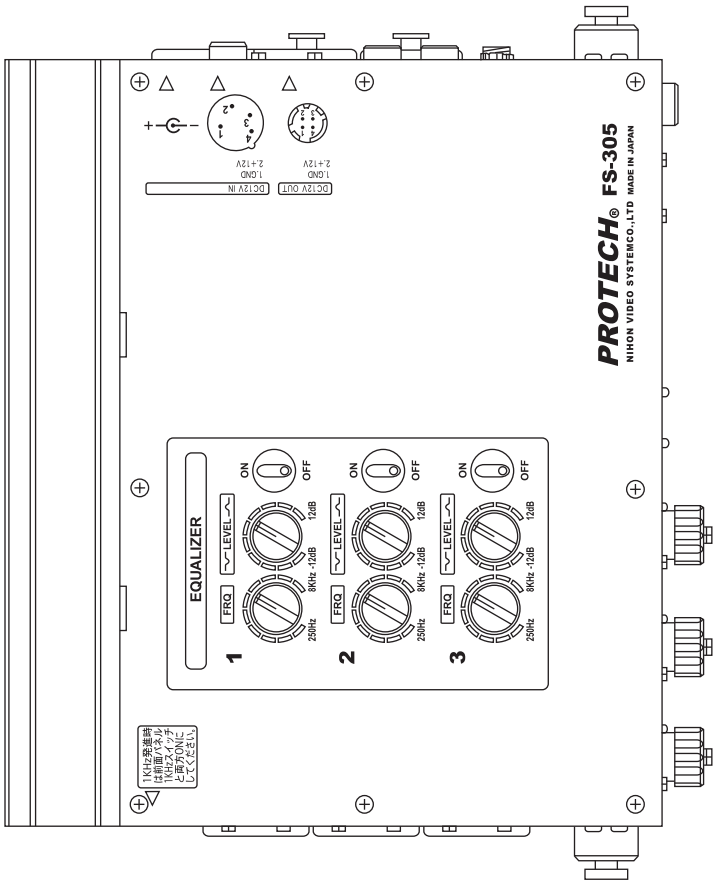


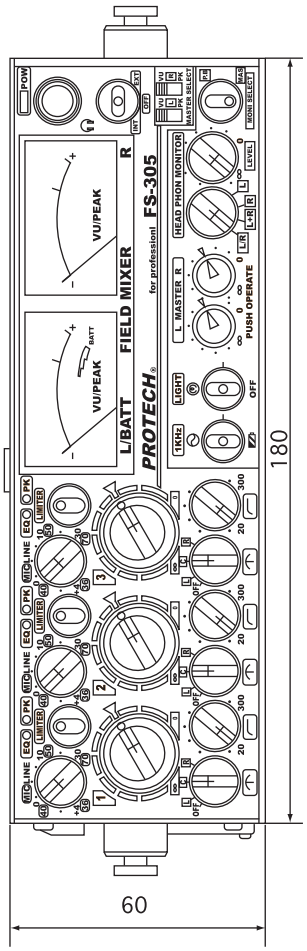
ブロック図

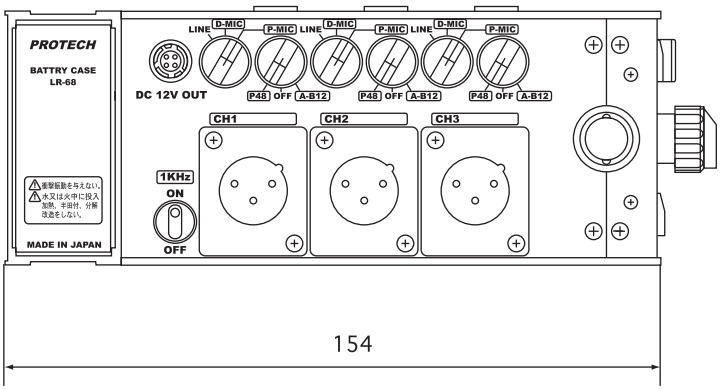

PLAYBACK IN
SUB OUT 10
MAS OUT L
+4/0/−20/−60
PAD
BAL
LEVEL
L
R
φ3.5
φ6.3
BAT CHECK
BAT
HP
INT
EXT
VU/PEAK
PEAK
VU
MONI SEL
L MON SEL
L MAS
R MAS
MIX
−20dB
PK1
PK2
PK3
LIMITER1
LIMITER2
LIMITER3
HYPER LIMITER
OSC 1kHz
1kHz ON
CH1 LED
CH2 LED
CH3 LED
EQ1
EQ2
EQ3
MASTER
EQUALIZER FRQ LEVEL ON/OFF
250~8K ±12dB
LOW CUT 20~300K
MIC −70~−36dB LINE −30~+4dB
MIC/LINE
48V(Ph)
OFF
12V(AB)
IN CH1
IN CH2
IN CH3
CH1~3 LED
PK1~3 LED
LAMP SEL
POW
12V(AB)
48V(Ph)
+12V(SYS)
−12V(SYS)
POW LED
BAT CHECK
12VOUT (≦4P)
EXT
INT
NP1端子
キャノン4P
BP-90
単3 8本

外形寸法図


MADE IN JAPAN
PROTECH
BATT RELEASE
DC 12V IN
DC 12V OUT
PUSH
MAS OUT
SUB OUT
IN
PLAY BACK
LEVEL


PROTECH® FS-305
NIHON VIDEO SYSTEMCO.,LTD MADE IN JAPAN
DC12V IN
DC12V OUT
EQUALIZER
LEVEL
FRQ
ON
OFF
12dB
-12dB
8KHz
250Hz
1
2
3


PROTECH®
L/BATT FIELD MIXER
for professional FS-305
VU/PEAK
HEAD PHON MONITOR
L MASTER R
PUSH OPERATE
LEVEL
180
60


PROTECH
BATTRY CASE
LR-68
MADE IN JAPAN
DC 12V OUT
LINE
D-MIC
P-MIC
P48
OFF
A-B12
CH1
CH2
CH3
1KHz
ON
OFF
154

主な仕様

入力部	
オーディオ	XLR-3ピン（メス：Aタイプ、オス：Bタイプ）x3
入力レベル	マイク-70～-36dBm連続可変
	ライン-30～+4dBm連続可変
インビーダンス	600Ω±10%
DC	XLR-4ピン（オス）x1
	BP-90型コネクタx1
出力部	
マスター音声出力	XLR-3ピン（オス：Aタイプ、メス：Bタイプ）L/Rx各1
サブ音声出力	RCA L/R×各1
ヘッドホンモニター	3.5φステレオミニジャックx1
	6.3φステレオ標準ジャックx1
最大出力	L/R+24dBm
音声出力レベル	L OUT+4・0・-20・-60dBm
	R OUT+4・0・-20・-60dBm
	600Ω負荷に適合する電子バランス出力
	RCA OUT (L/R)-10dBs
	アンバランス出力
	MONI OUT-6dBs
	8Ω以上の負荷に適合するアンバランス出力
統合特性	
周波数特性	ライン 50Hz～15KHz±1.0dB
	MONI 50Hz～15KHz±3.0dB
S/N	54dB以上（-70dBm入力時）
	64dB以上（+4dBm入力時）
	MONI60dB以上
	(30kHz L,P,F使用,入力600Ωブランチ)
歪み率	マイク及びライン 0.2%以下
	MONI 2%以下(50Hz～15KHz)
付属品	
単三乾電池ホルダー／専用キャリングケース／取扱説明書／保証書	

付属回路	
イコライザ	FRQ 250～8KHz
	LEVEL -12～+12dB
	各ch独立調整及びON/OFF可能）
ファンタム電源	P-48V(+48V)及びA-B12Vを
	各ch毎に装備
	最大供給電流3ch合計30mA
H.P.F	20～300Hz,-12dB/oct
	周波数連続可変
オシレーター	1kHz
音声レベルメーター	VU/ピーク切換え式
	VU/ピークを各chごとに切換え可能
リミッター	各ch入力側独立　3系統
	独立　ON/OFF可能
使用電源	
バッテリー	単三乾電池専用スライドケース（8本挿入）
	BP90バッテリー
	NP-1バッテリー
	（別売りバッテリーホルダーFS-N01使用時）
	ソニー社製リチウムイオンバッテリー
	（別売りバッテリーアダプターBKW-L601使用時）
外部DC入力	DC9V～18V　最大0.5A
消費電力	約0.3A
一　般	
動作温度	0℃～40℃
保存温度	-20℃～50℃
質　量	約1.5kg
外形寸法	180x60x154mm（幅x高さx奥行き）
	（電池ホルダー含む）

アフターサービス

■保証書

本製品には保証書が添付されています。
お買い求めの際に販売店の押印がない場合は、無効となります。
保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げいただいた日より一年間です。

■保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。(送料等はお客様負担でお願いします。)
詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

修理することによって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、
有料で修理させて頂きます。

■修理を依頼される前に

故障かな?とお思いになったらまず取扱説明書をよくお読みのうえ、
もう一度ご確認ください。それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、
またはサービスセンターへお問い合わせください。

■ご質問、ご相談について

アフターサービスについてのご質問、ご相談はお買い上げの販売店、
またはサービスセンターへお問い合わせください。

修理・お問い合わせ窓口

○website http://www.protechweb.jp ○e-mail support@protechweb.jp

PROTECH® サポートセンター

☎ 0567-24-4581

○受付時間　午前10時～午後6時まで（土・日・祝日を除く）

修理品送り先

（株）日本ビデオシステム　プロテックサポートセンター

〒496-8005　愛知県愛西市諸桑町郷城２１８番地

TEL 0567-24-4581FAX 0567-24-4577

会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。PROTECHは日本ビデオシステムの登録商標です。

0707